

ピックアッププロジェクト

JR山手線内の最高層・最大規模*の 超高層複合開発プロジェクト「Tomihisa Cross」

本プロジェクトは、事業主4社が2008年から事業参画し、住民や行政、大学などのさまざまな関係者と協議を進めてきました。地上55階建の分譲タワーマンション「Comfort Tower」をはじめ、賃貸住宅、大型スーパー、認定こども園、新宿区防災倉庫などを擁した超高層複合再開発の街「Tomihisa Cross」として2015年に誕生する予定です。



* 1993年～2012年11月の期間にJR山手線内において分譲された新築民間マンションで55階建1,093戸は最大となります。MRC調べ

23区内最大級の大規模団地建替プロジェクト 「桜上水ガーデンズ」

本プロジェクトは、1965年完成の「桜上水団地」17棟計404戸を9棟計878戸に建て替える23区内最大級のマンション建替事業です。単なる建替えではなく、「桜上水団地」が元来持ち合わせていた緑豊かな環境や住戸設計の特徴、強固な住民コミュニティなどを現代に再生する“Re-birth”プロジェクトでもあります。

物件概要

所在地: 東京都世田谷区桜上水
 交通: 京王線「桜上水」駅徒歩3分
 敷地面積: 47,503m²(建築確認対象面積)
 総戸数: 878戸(非分譲住戸含む)



個人投資家向け会社説明会のお知らせ

個人投資家の皆様に当社のことを幅広くご理解頂く機会として、2013年度より証券会社の支店での会社説明会の開催を予定しております。今後、IRフェアへの参加も含めて、個人投資家の皆様との対話を継続していきます。



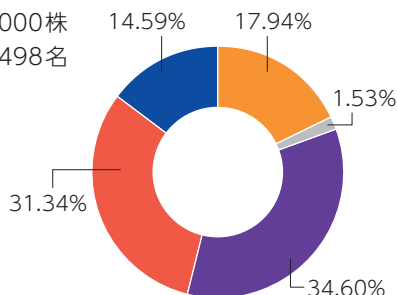
※写真はイメージです。

株式の状況(2013年9月30日現在)

発行可能株式総数 450,000,000株
 発行済株式総数 190,813,000株
 株主数 51,498名

所有者別株式分布状況(%)

- 金融機関(17.94%)
- 金融商品取引業者(1.53%)
- その他の法人(34.60%)
- 外国法人等(31.34%)
- 個人・その他(14.59%)



大株主(上位10名)

氏名・名称	株式数(株)	出資比率(%)
野村土地建物株式会社	64,777,500	33.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,656,900	5.06
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	6,663,800	3.49
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,661,500	3.49
野村不動産ホールディングス従業員持株会	2,966,182	1.55
ザバンク オブ ニューヨーク トリーティー ジャズデツク アカウント	2,715,723	1.42
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニパス アカウント	2,587,685	1.35
ジャパン リ フィデリティ	2,077,200	1.08
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	2,059,400	1.07
ステート ストリート バンク ウェスト ペンション ファンド クライアンツ エグゼンプト	1,879,433	0.98

IRカレンダー IRイベントの年間カレンダーです。最新の情報は当社ホームページに随時掲載しています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
決算発表	本決算 ●			第1四半期 ●			第2四半期 ●			第3四半期 ●		
株主総会・配当金のお支払い			定時株主総会 ●	● 期末配当金お支払い			中間配当金お支払い ●					
有価証券(四半期)報告書			有価証券報告書 ●	第1四半期 ●			第2四半期 ●			第3四半期 ●		
株主通信・アニュアルレポート発行			株主通信 ●	● アニュアルレポート				株主通信 ●				
ニュースリリース(ホームページに掲載)	http://www.nomura-re-hd.co.jp/news/index.html											

株主通信に関するお問い合わせ先:
 野村不動産ホールディングス株式会社 広報IR部 Tel: 03-3348-8117

この株主通信は環境に配慮した
 植物油インキで印刷しています。



会社概要(2013年9月30日現在)

商号 野村不動産ホールディングス株式会社
 本社 〒163-0566 東京都新宿区西新宿1丁目26番2号
 設立 2004年6月1日
 資本金 115,938,099,750円
 従業員数 5,771名(連結ベース)

役員

2013年9月30日現在の役員一覧につきましては、インターネット上の当社ウェブサイト(<http://www.nomura-re-hd.co.jp/company/organization.html>)に掲載しておりますので、そちらをご参照頂きますようお願い申し上げます。

株主メモ

上場市場 東京証券取引所市場第一部
 株式売買単位 100株
 株主名簿管理人および特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 お問い合わせ先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 ☎ 0120-232-711
 事業年度 4月1日から翌年3月31日
 定時株主総会 6月
 配当金受領株主確定日 期末配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日
 公告掲載方法 電子公告

(当社ホームページ <http://www.nomura-re-hd.co.jp/ir/index.html>)
 ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

- 住所のご変更、配当金受取方法のご指定などのお手続きに関するお問い合わせ、手続きに必要な書類のご請求などは、お取引の証券会社までご連絡ください。
- 当社株式事務に関する一般的なお問い合わせは、当社株主名簿管理人の三菱UFJ信託銀行でも承っております。
- 未受領の配当金のお支払いにつきましては、当社株主名簿管理人の三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。

Business Report Vol.14

2013年度第2四半期 株主通信 2013年4月1日～2013年9月30日

TOPICS

12年連続グッドデザイン賞を受賞



プラウドシティ浦和

6棟の集合住宅、2棟のコミュニティ施設、2つの公園と3つの広場からなる「プラウドシティ浦和」は、住宅部門でグッドデザイン賞を受賞するとともに、約2万4千本の植栽や既存樹の保存・再生などの緑化計画が評価され、首都圏のマンションとして初めてSEGES※の認定を取得しました。

※SEGES(シージェス)：公益財団法人都市緑化機構の社会・環境貢献緑地評価システム

プラウド経堂 コートテラス

第一種低層住居33戸の小規模分譲住宅「プラウド経堂コートテラス」は、「緑と融合した生活空間・生活文化」「地域の景観に参加する庭園」を周辺住民と共有することで、地域評価の向上を実現することに努めました。

ごあいさつ



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

配当について

まずは、9月末日を基準日とする中間配当につきまして、期初にご案内の通り、1株当たり15円をお支払いすることをご報告申し上げます。

経営環境について

住宅分譲市場においては、住宅ローン金利や不動産価格の先高観から、契約率は高水準で推移しており、堅調な事業環境が続いております。賃貸オフィス市場では、賃料の底打ち感が鮮明になってきており、空室率も低下傾向が続くなど、回復の兆しが窺えます。不動産投資市場においては、J-REITの新規上場や公募増資が大幅に増加するなど、良好な資金調達環境が続いております。

当第2四半期の業績概要

2013年度第2四半期(2013年4月1日～2013年9月30日)の連結業績は、住宅分譲事業において売上計上戸数が増加したことなどにより、営業収益が2,519億円(前年同期比13.2%増)、営業利益が364億円(同17.9%増)、経常利益が311億円(同23.2%増)、四半期純利益が175億円(同32.2%増)の増収増益となりました。なお、第2四半期の実績としては、過去最高の営業収益、営業利益となりました。

中長期経営計画の進捗について

当社グループは、2012年10月に発表しました中長期経営計画で掲げた戦略に基づき、次なる成長に向け、各事業分野での取り組みを進めております。住宅事業では、年間7,000戸の計上体制の構築に向け、マンション・一戸建とも十分な用地を確保するとともに、ご入居頂いたお客様を対象とした様々なサービスを提供する「住まいのバリューチェーン」の取り組みを強化しております。また、賃貸事業では、オフィスの「PMO」、商業施設の「GEMS」の事業推進に加え、物流施設である「Landport」の開発を再開しました。さらに、サービス・マネジメント分野では、資産運用事業において、3つ目の上場REITである「野村不動産マスターファンド投資法人」の新規上場を実現し、仲介・CRE事業において、新サービスブランドの「野村の仲介+(プラス)」を立ち上げ、運営管理事業においては、今後の成長を見据え、管理会社2社の合併を決定しました。

株主・投資家の皆様へ

当社グループは、引き続き、多様化する社会やお客様ニーズに応え、新たな価値を創出し続けることで、企業価値の向上を追求してまいります。株主・投資家の皆様には、これまでと変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2013年11月

取締役社長

伊井 加明三

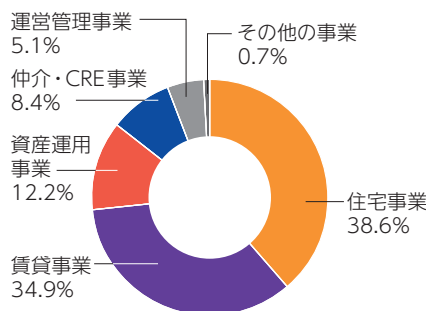
決算ハイライト

▶ 財務情報は当社ホームページの「投資家情報」でもご覧いただけます。 <http://www.nomura-re-hd.co.jp/ir/results/highlight.html>

2013年度第2四半期 ()内は前年同期比

連結営業収益	2,519億円 (+293億円)
連結営業利益	364億円 (+55億円)
連結四半期純利益	175億円 (+42億円)
連結総資産	13,237億円

セグメント別連結営業利益構成



構成比率は、それぞれの単純合計額を基に算出しています。

■ 増収増益を達成

- 主力事業である住宅分譲事業において販売状況が好調に推移し、計上戸数が大きく増加したことなどにより、増収増益
- 営業収益と営業利益は、第2四半期としては過去最高水準を達成

CSR

野村不動産グループのCSR

私たちは、グループ企業理念をもとに、4つの重点テーマを軸としたCSR活動を推進しています。日々の事業活動を通じて社会や環境にかかわる課題に応えるとともに、新しい社会価値の創造に取り組み、すべてのステークホルダーの皆様への責任を果たしていきます。

「かやぶきの里プロジェクト」が

「GOOD DESIGN AWARD 2013」においてBEST100に選出



耕作放棄地の増加や山林荒廃などの問題を抱える里山と、都市住民との間にサステイナブルな相互扶助関係を築くため、当社がつくば市、筑波大学などと産民官学共同で取り組んでいる「かやぶきの里プロジェクト」では、分譲住宅入居者を筑波山麓へ招き、田植えや稲刈りなどの里山体験イベントを実施しました。また、都市農村交流の拠点と里山文化継承の象徴として、築150年の茅葺き古民家を、分譲住宅入居者、野村不動産社員、地元住民などが協力し合いセルフビルドで移築再生しました。



筑波山を眺めながらの田植え体験



里山体験イベントでの昆虫採集



多様な生物が生息する「野村不動産エコ田んぼ」

CSR 4つの重点テーマ

品質・サービスの向上

環境に配慮した取り組み

コンプライアンスの徹底

人材の育成

プラウド船橋での取り組みが

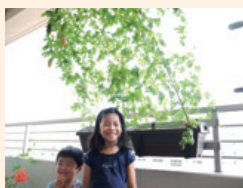
「GOOD DESIGN AWARD 2013」で3部門を受賞



■ 生活のためのサービス・システム部門

森のシティグリーン
カーテンプロジェクト

従来マンションではグリーンカーテンの育成が困難でしたが「プラウド船橋」では、グリーンカーテン育成のための設備をバルコニーに整備し、育成をサポートする体制・規約を整備しました。「プラウド船橋I・II街区」(総戸数573戸)のうち、273世帯がグリーンカーテン育成に取り組んでいます。



ゴーヤのグリーンカーテン



クラブハウスでの
緑の育成

■ 公共のためのサービス・システム部門

サイクルシェアリング用電動
自転車のバッテリーを活用した
モバイル非常用電源

本システムは、シェアリング用電動自転車バッテリーを停電時のモバイル非常用電源として活用するシステムです。平常時には太陽光発電による電気をシェアリング用電動自転車のバッテリーに利用し、災害時には携帯電話の充電などの非常用電源として利用するなど、本システムは環境負荷軽減のみならず、災害対策にも役立ちます。



自転車のバッテリーを携帯電話の充電に利用



■ 社会基盤・プラットフォーム部門

プラウド船橋(みらSATO～未来の
ふるさとを創ろうプロジェクト)

本プロジェクトでは、低炭素型都市基盤を構築する「スマートグリッド」、快適な住まいのための知恵を取り入れた「パッシブデザイン」、地域や街とかかわりの深い活動を促す「コミュニティ」の3つのコンセプトのもと、「未来のふるさと」を目指しました。



街のクリーンアップ活動



エネルギーの
リアルタイム表示